



2023年11月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年7月13日

上場会社名 川崎地質株式会社

上場取引所 東

コード番号 4673 URL <https://www.kge.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 栃本 泰浩

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務企画部長 (氏名) 土子 雄一 TEL 03-5445-2071

四半期報告書提出予定日 2023年7月14日 配当支払開始予定日 2023年8月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年11月期第2四半期の連結業績(2022年12月1日～2023年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年11月期第2四半期	4,267		152		193		181	
2022年11月期第2四半期								

(注) 包括利益 2023年11月期第2四半期 208百万円 (%) 2022年11月期第2四半期 百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年11月期第2四半期	209.21	
2022年11月期第2四半期		

(注) 当社は、2023年11月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2022年11月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年11月期第2四半期	7,048	4,200	59.6
2022年11月期			

(参考) 自己資本 2023年11月期第2四半期 4,200百万円 2022年11月期 百万円

(注) 当社は、2023年11月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2022年11月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年11月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年11月期		25.00		25.00	50.00
2023年11月期(予想)		25.00		25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年11月期の連結業績予想(2022年12月1日～2023年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000		340		420		320		368.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は、2023年11月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年11月期2Q	1,057,980 株	2022年11月期	1,057,980 株
期末自己株式数	2023年11月期2Q	186,674 株	2022年11月期	190,344 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年11月期2Q	869,209 株	2022年11月期2Q	865,275 株

当社は「役員株式給付信託(BBT)」を導入しており、自己株式数には当該制度の保有する当社株式数が含まれております。また、株主資本において自己株式として計上されている当該制度に残存する当社の株式は、「1株当たり純資産額」の算定上、期末発行済株式総数より控除する自己株式に含めており、また、「1株当たり当期純利益」金額の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、後頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っておりません。

(1) 経営成績に関する説明

① 経営成績の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限が大幅に緩和され、政府による経済対策もあり国内経済は着実に回復基調にあります。

しかしながら、エネルギー価格および原材料価格等が高止まり、また米欧の景気減速不安は引き続き懸念材料であることから、注意を要する状況といえます。

こうした中で、建設コンサルタントおよび地質調査業界におきましては、国が策定した「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の施行により、国内公共事業を取り巻く環境は引き続きおおむね堅調に推移するものと予想されます。

当社は新型コロナウイルス感染症に対する行動指針が緩和されて以降も、社員をはじめとする関係者の安全を最優先とする方針に変わりなく、在宅勤務・時差通勤、会議等のWEB化と会話時のマスク着用を推奨しております。

こうした状況の中、当社グループはコア技術を活かした点検、診断、維持対策工法検討など予防保全業務に注力するとともに、地質リスクに対応した保有・先端技術を活かした提案力をもって、国土強靱化推進業務をはじめとする自然災害・防災関連等の業務、道路・下水道維持管理をはじめとするインフラメンテナンス業務、再生可能エネルギー、海洋資源開発等、関連業務に全社員協力一致のもと取り組んだ結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、次のとおりとなりました。

受注高は63億35百万円、売上高は42億67百万円、営業利益は1億52百万円、経常利益は1億93百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億81百万円となりました。

② 売上高の季節的変動について

当社グループは、官公庁・公共企業体をはじめとする公共部門との取引率が高いことから、納期の関係もあり、売上高・利益ともに第2四半期と第4四半期に集中するという季節変動の傾向があります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、70億48百万円となりました。主な内訳は、完成調査未収入金及び契約資産17億41百万円、土地15億38百万円、現金及び預金13億8百万円等であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、28億48百万円となりました。主な内訳は、調査未払金5億65百万円、退職給付に係る負債5億97百万円、未成調査受入金2億95百万円、社債2億50百万円等であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、42億円となりました。主な内訳は、資本金8億19百万円、資本剰余金8億26百万円、利益剰余金28億57百万円等であります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、13億8百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、25億14百万円の増加となりました。これは、税金等調整前四半期純利益2億71百万円、引当金の増加2億70百万円、売上債権の減少20億11百万円、未払費用の減少3億58百万円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、22百万円の減少となりました。これは、有形固定資産の取得による支出51百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入31百万円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、19億46百万円の減少となりました。これは、短期借入金の減少18億円、社債の償還による支出50百万円、リース債務の返済による支出47百万円、長期借入金の返済による支出26百万円、配当金の支払額22百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、2023年4月13日に公表した2023年11月期第2四半期累計の連結業績予想及び2023年11月期通期の連結業績予想を修正しております。詳細は、本日開示しております『業績予想の修正に関するお知らせ』をご覧ください。

なお、上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間 (2023年5月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,308,179
受取手形	26,670
完成調査未収入金及び契約資産	1,741,143
未成調査支出金	251,616
材料貯蔵品	897
その他	57,532
貸倒引当金	△31,130
流動資産合計	3,354,911
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	699,898
機械装置及び運搬具(純額)	169,563
土地	1,538,475
リース資産(純額)	224,267
建設仮勘定	10,938
その他(純額)	2,987
有形固定資産合計	2,646,130
無形固定資産	69,617
投資その他の資産	
投資有価証券	547,917
長期貸付金	820
繰延税金資産	195,857
その他	236,593
貸倒引当金	△3,000
投資その他の資産合計	978,189
固定資産合計	3,693,937
資産合計	7,048,849
負債の部	
流動負債	
調査未払金	565,495
短期借入金	20,000
1年内償還予定の社債	100,000
1年内返済予定の長期借入金	12,880
リース債務	98,768
未払法人税等	107,471
賞与引当金	236,015
未成調査受入金	295,629
その他	230,028
流動負債合計	1,666,289
固定負債	
社債	250,000
長期借入金	90,031
リース債務	182,321
役員退職慰労引当金	5,771
退職給付に係る負債	597,943
その他	56,082
固定負債合計	1,182,150
負債合計	2,848,439

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間
(2023年5月31日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	819,965
資本剰余金	826,345
利益剰余金	2,857,742
自己株式	△528,826
株主資本合計	3,975,226
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	227,023
退職給付に係る調整累計額	△1,840
その他の包括利益累計額合計	225,183
純資産合計	4,200,409
負債純資産合計	7,048,849

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)
売上高	4,267,480
売上原価	2,990,193
売上総利益	1,277,286
販売費及び一般管理費	1,125,192
営業利益	152,094
営業外収益	
受取利息	239
受取配当金	7,692
受取手数料	5,946
固定資産賃貸料	35,367
その他	10,039
営業外収益合計	59,286
営業外費用	
支払利息	17,787
その他	276
営業外費用合計	18,063
経常利益	193,317
特別利益	
負ののれん発生益	78,293
特別利益合計	78,293
税金等調整前四半期純利益	271,611
法人税等	89,760
四半期純利益	181,851
親会社株主に帰属する四半期純利益	181,851

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)
四半期純利益	181,851
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	23,846
退職給付に係る調整額	2,899
その他の包括利益合計	26,745
四半期包括利益	208,597
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	208,597

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	271,611
減価償却費	100,228
負ののれん発生益	△78,293
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	30,758
賞与引当金の増減額 (△は減少)	232,409
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	213
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	7,580
受取利息及び受取配当金	△7,932
支払利息	17,787
売上債権の増減額 (△は増加)	2,011,520
棚卸資産の増減額 (△は増加)	254,261
仕入債務の増減額 (△は減少)	105,225
未成調査受入金の増減額 (△は減少)	103,892
未払費用の増減額 (△は減少)	△357,904
未払又は未収消費税等の増減額	△31,575
その他	△9,668
小計	2,650,113
利息及び配当金の受取額	7,932
利息の支払額	△18,108
法人税等の支払額	△125,101
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,514,835
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△51,580
無形固定資産の取得による支出	△5,205
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	31,979
貸付金の回収による収入	574
その他	1,950
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,281
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,800,000
長期借入金の返済による支出	△26,251
社債の償還による支出	△50,000
リース債務の返済による支出	△47,634
配当金の支払額	△22,291
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,946,177
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	546,376
現金及び現金同等物の期首残高	761,802
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,308,179

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

当社は、2022年12月16日付で株式会社ユニオン・コンサルタントの全株式を取得したことに伴い、第1四半期連結会計期間より同社を連結の範囲に含めております。

なお、2022年12月31日をみなし取得日としたため、第1四半期連結会計期間においては貸借対照表のみを連結し、当第2四半期連結会計期間より損益計算書についても連結しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間（自 2022年12月1日 至 2023年5月31日）

当社グループは、建設工事に関連する地質調査、土質調査を中心に環境・防災・海洋調査業務等を行い、これらに関連する測量、建設計画、設計等の業務および工事を営む単一事業の企業集団であることから、記載を省略しております。